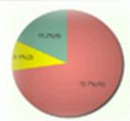


導入されたばかりの

さっそく

日野第三小学校「スタディネット」を学校公開で活用!

日野第三小学校は、今秋、タブレットPCと児童・生徒用校内無線LANが整備されました。

メディアコーディネーターが「タブレット学習システム STUDYNET（スタディネット）」の研修を学校で実施した2週間後、6年生担任の石鍋雅也先生が学校公開の授業でスタディネットを活用されました。子供達に「スタディネット」の操作に慣れてもらうこと、どんなことができるかを知ってもらうことを目標とした授業で、子供達はいろいろな課題を楽しみながら体験しました。学校公開の日でしたので、来校者の方達も参加してくださいました。

授業の一部をご紹介します…

〈各自がタブレットPCでかいたものを送信〉

〈前のスクリーンで共有化〉



お母様方も参加!

「ストローク再生機能」を活用して、筆順の確認!



一人一人がなぞった順に「再生」される!

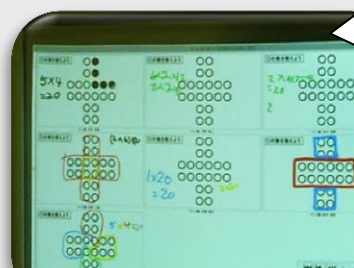
T:「右」と「左」は書き順が違よね。間違ってる人いない?

S: 間違ってた覚えてた (-_-)



集中して取り組む様子

〇の数はいくつ? どうやって数える? 式も書く!



これも「ストローク再生機能」を活用。どんなふうを考えて数えたか、書いた順に再生される! →思考の可視化

T: いろいろな考え方が出てきたね!ピックアップして分類してみよう!

S: Aくんの考え方、面白いよ! 大きくしてみんなで見たい!!

石鍋雅也先生より ～三小の研究に関連した「スタディネットの活用」について～

三小では、国語科授業におけるユニバーサルデザインの研究に取り組んでいます。高学年では、文学作品において作者の「主題」(作者が物語を通して伝えたい事)を読み取る学習を行っています。その中で、今年度の研究サブテーマである「判断でしかける発問」を達成するにあたり、「スタディネット」の有用性に着目しました。

メリットの一つ目は、本校の研究の柱にある「共有化」を行うことができる点です。「ピックアップ機能」や「ストローク再生機能」を使って、全員の考えの「思考の過程」を見ることができます。

二つ目は、「アンケート機能」を使うことによって、クラス全体の選択の様子を確認することができる点です。特に「判断でしかけた発問」に対して、選択した後に友達の意見を聞き、変容があったかどうかを再びアンケート機能を使い、円グラフを並べられます。子供の意見の変容を「視覚的に」確認できるのです。

国語に限らず、理科での予想に使ったり、算数での「練り上げ」に使ったり何かを決める際に全員が「参加」し、「決める」ことへの「責任」をもつ練習としても役立つと考えています。子供同士が学び合うことでコミュニケーション能力も大きく促進されるような授業を目指し、更に研究を進めてスタディネットを活用したいです。

石鍋先生は自校にスタディネットが導入される前から、平山小での未来の教室研修などを通して「自分ならスタディネットをどう活用するか!？」を探ってこられました。スタディネットを活用することで子供達の学びの幅がさらに広がる授業を楽しみにしています!



■今年度のICT活用NEWSは、校務支援システムの

〈平成28年度ICT活用NEWS〉掲示板からご覧いただけます。